

議 事 録 (概 要)

会 議 の 名 称	岩出市都市計画マスタープラン策定委員会（第2回）		
開 催 日 時	令和4年7月28日（木）	開会	午後 1 時 3 0 分
		閉会	午後 2 時 5 5 分
開 催 場 所	岩出市役所 特別会議室		
議 事 進 行	仁藤委員（委員長）		
出 席 者	仁藤委員、岸谷委員、川端委員、松見委員、長谷委員、家原委員、福井委員、宮本委員（代理：西川）、藤本委員、黒井委員		
欠 席 者	臂曲委員、長岡委員、北田委員、小村委員、松下委員、地濃委員		
会 議 事 項	1) 「岩出市都市計画マスタープラン全体構想（案）」について 2) 今後のスケジュールについて		

○議案説明	
事務局	事務局より、「岩出市都市計画マスタープラン 全体構想（案）」について説明
○意見等	
A委員	土地利用の方針として、今後、「線引き」等の制限は検討できないか。（農地と宅地の混在にかかる、営農支障対策）
事務局	<p>農地と宅地の混在が進み、低密度な市街地が平野部に広がり、一団の大きな農地がない状態となっている一方で、市域が狭い中で全体的に宅地開発が進み、便利で住みよいコンパクトなまちなみが形成されているとも言える。</p> <p>用途が現実的に混在している状況のため、「線引き」は行わない。なお、和歌山県の「紀北圏域マスタープラン」においても、「線引き」は行わない区域とされている。</p>
A委員	主要幹線道路の整備について、概ね完了しているとの説明があったが、今後、あらたな都市計画道路の整備予定はないということか。
事務局	<p>東西の国道24号、県道粉河加太線、南北の県道泉佐野岩出線などの主要な幹線道路はすでに完成しているので、新たな都市計画道路の整備予定はない。</p> <p>ただし、市内道路網を環状化し、利便性や安全性を向上させる、整備中の金屋荊本線は早期整備完了に取り組む。</p>
B委員	岩出市の駅前と駅の機能、バスの利便性向上に力点をおいたマスタープランを策定してはどうか。地域の基礎力の向上に繋がり、人口を維持する一助になるのでは。
事務局	<p>岩出駅については、JRと協力しバリアフリー化の工事などが完了済。</p> <p>バス等の交通利便性の向上については、今回は、都市計画に関するプランなので、具体的などころまでは記載できない。</p> <p>公共交通に関する計画と横の連携が必要、地域別構想で検討していくこととなる。</p>
C委員	<p>「将来都市構造」で示されている「拠点」や「ゾーン」の配置について、公共交通ネットワークで連携して活性化させる考え方はどうか。</p> <p>県策定の都市計画区域のマスタープランの基本理念で示されている「集約拠点ネットワークのまちづくり」に繋がるものなので、地域別構想での検討にあたっては、留意して進めていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>岩出市の場合は市域が狭く、ある程度コンパクトなまちができており、例えばコミュニティバスの利便性の向上などにより、地域間の連携を強めることもできる。</p> <p>長期総合計画や公共交通に関する計画などと横の連携をしながら進める。</p>
C委員	土地利用の方向性について、県策定の都市計画区域マスタープラン

	<p>においても、土地利用の規制・誘導の考え方が示されている。その整合を十分図っていただきたい。</p>
事務局	<p>土地利用の方針と和歌山県の区域マスタープランとの整合は、勘案して策定しているところだが、地域別構想策定にあたっては再度確認する。</p>
C委員	<p>都市施設整備の方針のところで、国道や県道の取り組みに関する記述も加えてはどうか。</p>
事務局	<p>県道和歌山打田線での歩道設置事業など、国・県事業のマスタープランへの記載も検討する。</p>
D委員	<p>道路整備について、「歩行者の視点」なのか、「車の視点」なのか。特に、根来寺周辺や岩出駅前などにおいては、歩行者の視点が大事。</p>
事務局	<p>本編の、「都市施設整備の方針」のうち「道路交通施設整備の方針」の中で、「歩道設置や安全性向上のための交差点改良など、生活道路の整備・充実に取り組みます。」としている。</p>
D委員	<p>根来寺を中心とする「文化文教ゾーン」に近接する岩出根来インターチェンジ周辺での、流通関連施設等の企業誘致について、計画としての整合性はどうか。</p>
事務局	<p>「文化文教ゾーン」と「企業誘致を推進するエリア」が近接している件については、具体的に企業誘致をするエリアは、岩出根来インターチェンジ北側の旧碎石場や西側の地域であり、「文化文教ゾーン」とは住み分けができる。</p>
D委員	<p>高齢化などの影響で、今後、空き家問題が重要となる。岩出市の空き家率はどうか。</p>
事務局	<p>国の住宅・土地統計調査に基づく推計で、空家数は平成15年から概ね減少傾向で、空家率については、平成30年度の数値で、全国：13.6%、和歌山県：20.3%、岩出市：12.1%となっており、全国や和歌山県と比べて低い状況となっている。</p> <p>ただし、空き家が増えていくことは確実なので、空家等の対策は推進する。</p>